平成24年度　事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	広域幹線道路整備推進													継続
コード	58	－	23	－	03	－	00	予算事業名	広域幹線道路整備推進					
担当部署	都市計画部		都市計画課		都市計画担当			予算事業コード	会計	10	款	08	項	04	目	01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け　　位置付けなしの場合

法令による実施義務　義務ではない

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	都市計画法
方向性(節)	2節	交通ネットワーク		
施策	1	道路交通体系の整備	個別計画等の名称	都市計画マスタープラン
細施策	1	都市活動を支える広域幹線道路の整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	高度成長期に策定された広域幹線道路網である都市計画道路を、今後の社会状況や市街地の収束などを踏まえ、将来の交通需要に即した道路ネットワークとして整理する。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	長期未整備都市計画道路の見直し候補路線を対象に、現時点における都市計画道路の必要性を検証し、見直しについて理由付けを明確にしたうえで都市計画の見直しを行う。 更に、整備路線の見直しを行い、都市計画道路の整備方針を検討し、効率的な道路整備の優先順位を位置付けます。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		5,028	3,028	3,000	3,000	5,500	
事業費	A	2,520	2,783	2,835	2,835	3,000	3,000
人件費	B	2,590	4,440	4,070	7,030	4,810	7,030
総コスト(C＝A＋B)		5,110	7,223	6,905	9,865	7,810	10,030
正規職員(1年間の従事人数)		0.35人	0.60人	0.55人	0.95人	0.65人	0.95人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	1,500
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(＝C－D－E)		5,110	7,223	6,905	9,865	7,810	8,530

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	:中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	関係機関との会議の開催	回	1	0	0	1	会議の開催回数
活動	地元との協議	回	3	0	0	2	協議回数
成果	都市計画の変更手続き	路線	0	0	0	0	路線数

中心指標の考え方	本事業は、成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	関係機関との調整については回数が少なかったが、今後については、地元との合意形成を図ることや、県などの関係機関と調整を図りながら、都市計画変更手続きを進める必要がある。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況　　公平性に課題　　有効性に課題

都市計画道路の変更(廃止、ルート変更、幅員変更)手続きには、関係機関との協議・調整と共に、関係地権者や地域住民への説明を通じて合意形成を図る必要がある。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

県内においては、80路線の都市計画路線の見直し候補路線が公表されており、そのうち58路線で廃止や、ルート変更、幅員などの変更手続きが実施されている。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

市街地の拡大や自動車交通の増大を前提とした現行の都市計画道路網については、都市を巡る社会経済状況に応じた再検証が必要であるため、より透明性を高めることや、効率的かつ効果的な都市計画道路の整備が出来なくなる。

(4) **所属長自己評価(今後の方向性)**　　**継続**

今後とも関係行政機関と事業の必要性、実現性の協議を重ね、事業実施を図りたい。